

試験研究成果普及情報

部門	果樹	対象	普及
課題名：「なつしずく」の成熟特性の解明と落果防止対策の確立			
<p>[要約] 早生の青ナシ「なつしずく」の収穫は、満開後日数で判断することが適当であり、収穫適期は果実が急激に肥大し、果実品質が良好になる満開後 115～120 日頃である。「なつしずく」は収穫適期頃から落果が急増するので、落果を防止するために、ストップボール液剤を収穫開始予定日の 14～7 日前までに処理する。</p>			
キーワード：ニホンナシ、「なつしずく」、落果防止、青ナシ、成熟特性			
実施機関名	主 査 農林総合研究センター・生産技術部・果樹研究室 協力機関		
実施期間	2008 年度～2010 年度		

[目的及び背景]

「幸水」より早く収穫できる早生の青ナシ「なつしずく」の高品質生産技術を確立するため、成熟特性を解明する。

また、後期落果が多いとされる「なつしずく」の成熟と落果の関係を明らかにし、落果防止対策及び収穫適期の判定方法を確立する。

[成果内容]

- 「なつしずく」の収穫適期は、果実が急激に肥大し、果実品質が良好になる満開後 115～120 日頃である（表 1）。食味は、「二十世紀」用カラーチャート指数が 1.0～5.0 で差がなく、収穫適期を表面色で判断することは困難である（表 2）。ただし、みつ症は、収穫後期の果実の表面色指数が 3.5 以上のもので発生するため、収穫は表面色指数 3.0 以下で行う（表 3）。
- 後期落果は、収穫適期頃から急増するが、ストップボール液剤 1,500～2,000 倍液を収穫開始予定日の 14～7 日前までに処理することで、大幅に軽減できる（図 1）。

[留意事項]

ストップボール液剤の使用に当たっては、使用基準を遵守し、収穫開始予定日の 14～7 日前までに散布する。

[普及対象地域]

県内全域

[行政上の措置]

[普及状況]

[成果の概要]

表1 「なつしずく」の収穫期別の果実品質 (平成22年)

収穫日 (月/日)	満開後 日数 (日)	調査 果実数 (個)	1果 平均重 (g)	表面色 ^{注1)} 指数	地色 ^{注2)} 指数	果実品質			備考
						硬度 (lbs.)	糖度 (Brix)	果汁pH	
7/20	97	20	168	1.0	1.0	8.4	12.3	5.2	
7/23	100	21	194	1.0	1.0	7.5	12.0	5.3	
7/27	104	20	232	1.1	1.1	6.8	12.6	5.3	
7/31	108	20	274	1.2	1.2	6.4	12.3	5.3	
8/ 3	111	20	297	1.6	1.7	5.7	13.0	5.3	
8/ 6	114	20	306	1.4	1.7	5.3	13.3	5.3	
8/ 9	117	20	310	1.6	1.7	5.4	13.5	5.3	
8/12	120	20	361	2.5	2.5	5.2	13.8	5.3	
8/16	124	36	393	3.0	3.0	5.0	14.5	5.3	みつ 6/36果

注1) 表面色は「二十世紀」用カラーチャートの指数(1~8)

2) 地色は「地色」用カラーチャートの指数(1~6)

3) 果実は調査日に無作為に採取した

表2 「なつしずく」の表面色別の食味評価^{注1)} (平成22年)

表面色指数 ^{注2)}	総合	甘さ	酸味	硬さ
1.0	2.9	2.7	2.2 b ^{注3)}	2.6
2.0	2.9	3.3	1.6 a	3.0
3.0	2.9	3.0	1.6 a	2.7
4.0	2.6	3.1	1.7 ab	2.5
5.0	2.4	2.5	1.4 a	2.5

注1) 食味は8月17日(収穫日は8月16日)に10名のパネラーによる絶対評価で、次のように行った。総合評価は、悪い(+1)~普通(+3)~良い(+5)に、甘さは、甘くない(+1)~普通(+3)~甘い(+5)に、酸味は、酸っぱい(+1)~普通(+3)~酸っぱくない(+5)に、硬さは、硬い(+1)~普通(+3)~軟らかい(+5)にそれぞれ1刻みで判定した

2) 表面色は「二十世紀」用カラーチャートの指数(1~8)

3) 異なる文字間は5%水準で有意

表3 「なつしずく」の表面色別のみつ症の発生 (平成22年)

表面色 ^{注1)} 指標	調査 果実数 (個)	みつ症 ^{注2)} 発生果 (個)
1.0	114	0
1.5	20	0
2.0	10	0
2.5	22	0
3.0	10	0
3.5	11	3
4.0	5	1
4.5	0	0
5.0	3	1
5.5	2	1

注1) 表面色は「二十世紀」用カラーチャートの指数(1~8)

2) みつ症は、みつ指数1以上の果実

[発表及び関連文献]

- 「なつしずく」の成熟特性について、千葉の園芸、第7号、2011年
- 平成23年度試験研究成果発表会(果樹部門)

[その他]

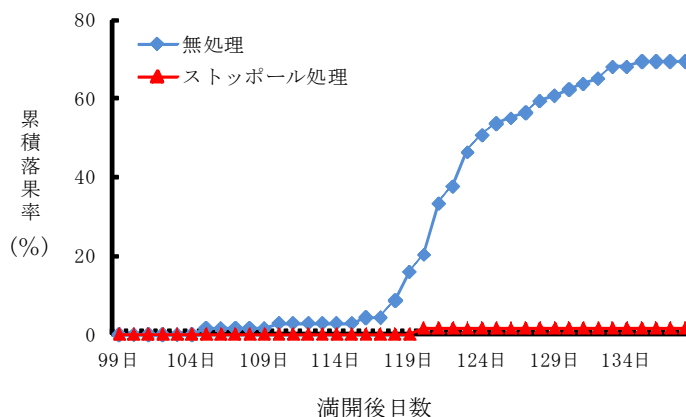


図1 「なつしずく」に対するストップール液剤処理の落果防止効果(平成22年)

注) ストップール液剤処理は満開後99日(7月22日)に2,000倍で立木全面散布とし調査終了まで収穫は行わなかった